

# Marco Gallery

---

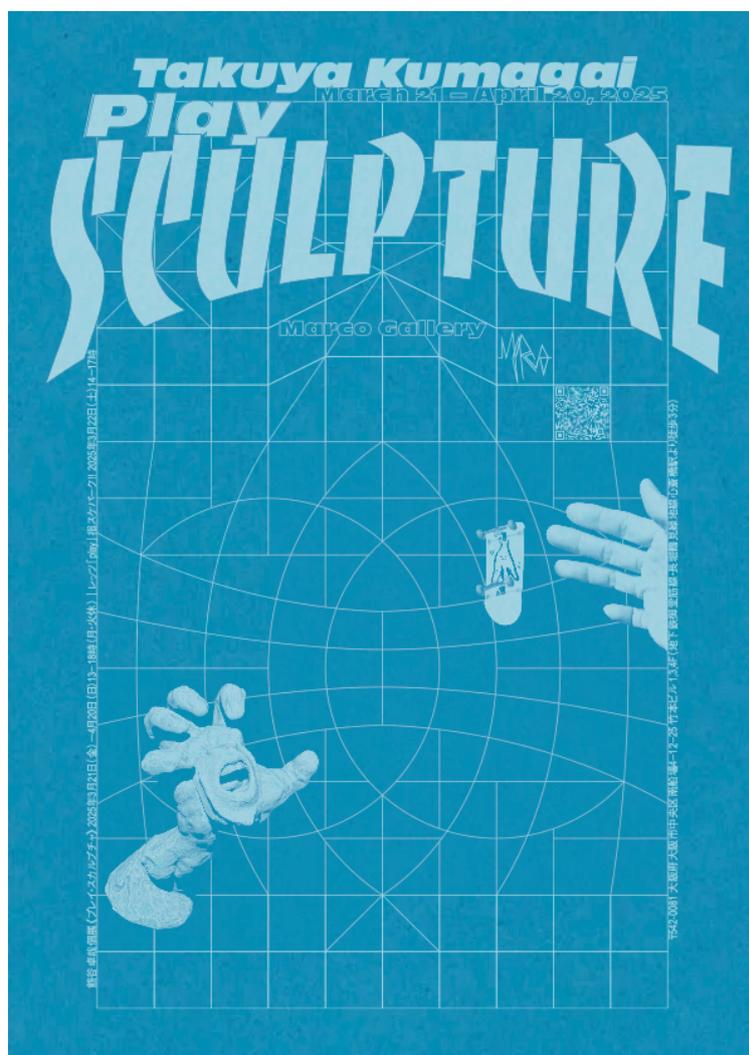
Solo Exhibition

## “Play Sculpture”

熊谷 卓哉

2025/3/21 - 4/20

Marco Gallery 1・3・4F



ビジュアルデザイン 中家 寿之

この度 Marco Gallery では熊谷 卓哉による個展 “Play Sculpture”を開催いたします。

ぜひご覧ください。



# Marco Gallery

---

## 【ステートメント】

「Play Sculpture」遊ぶ彫刻。彫刻家イサム・ノグチの作品には「Play」の名を冠する群がある。

これらは遊具や小山などの風景を遊び場に変換しているものであり、多様な彼の仕事の内でも最もエッセンシャルなものの一つだ。

今回の展示タイトルである「Play Sculpture」は言うまでもなくイサム・ノグチの仕事からインスピレーションを得ている。実際に、札幌の巨大公共彫刻「モエレ沼公園」には遊具を意図して作られた同名の作品が存在する。

そして、自分のこれまでの作品を思い返してみても、「Play Sculpture」は自身にとって非常に親和性の高いコンセプトであると考えられる。

具体的には、彫刻の構成を他者に委ね、無限の構成からなるキメラを増殖させる作品「オーダーメイド」(2019～)やガチャガチャマシンの機構を搭載した「ガチャガチャマシン型彫刻」(2021～)のシリーズなどはゲームや玩具的な要素が強く、「Play Sculpture」と呼んで差し支えないように思う。

唐突になるが、去年の12月中頃にフィンガースケートボード(以下:指スケ)の存在を知った。この出会いは、自分自身の作品における「Play Sculpture」的な傾向をさらに加速させ、以前より、私の中にあった思考を真に自覚させてくれるものとなった。

まず簡単に指スケについて説明すると、指スケとはスケートボードを指ですべれるほど小さくしたもので、である。ただの玩具のように思われるかもしれないが、指を使って巧みにトリックを決める様はまさに驚きであり、華麗な印象をささげ与える、想像以上に本格的な"フィンガー"スケートボードなのだ。

指スケにもスケートボードと同様にトリックを決めるためのセクションがあり、指スケのためのパークもある。元々指スケは雨の日など外で滑れないスケーターが室内でイメトレをする用途で使用している、という経緯があるため、指スケのパークもまたスケートボードのそれに準じたミニチュアスケートボードパークの様相を呈している。階段や手すり、段差、膨らみ、傾斜など条件の異なる形状が連続するパークは、さながら自由な形態の造形物のようにも見える。

指スケは大変に魅力的で、たくさんの言葉を動員したいのは山々だが一旦ここでは割愛し、今一度イサム・ノグチの作品に話を戻す。彼はたくさんの公共プロジェクトを手がけているが、中には諸事情から実現しなかったものも存在する。その代表的なものの一つが、広島原爆慰霊碑である。政治的条件で実現しなかったこの慰霊碑には、それ自体が魅力的な模型が残されており、模型ではあるもののノグチの思想を雄弁に語るに十分である。

今回注目するのはこの魅力的な模型、ないしは模型自体の魅力だ。

翻って本展「Play Sculpture」での試みは以下のようになる。

制作される彫刻は、架空の公園彫刻のための「公共彫刻プロジェクト模型」でもあり、実際に指スケを「Play」することができる実寸大の「パーク」でもある、そんな両儀的な状態を目指す。

そして彫刻を「Play」するために自分自身の作品を再定義し、「Play」のための種々の要素を盛り込んだ展開をしていこうと考えている。

—

本展「Play Sculpture」を「Play」されるお客様へ

ご自身の指スケをお持ちになり、自由に彫刻を「Play」してくださいませ。

「Let's play Play Sculpture!」

—イサム・ノグチとスケートボードカルチャーに尊敬と敬意を込めて。



# Marco Gallery

## 【アーティスト】

## 熊谷 卓哉/Takuya Kumagai

美術家

1987年京都府生まれ。

2012年武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業。

京都を拠点に活動。

日々目にするモノや場、行為などを公/私それぞれの視点で収集し、「彫刻」として並べ置く。自身の作品制作や展示に加え、企画・キュレーション等を通し、「彫刻」と呼ぶ条件を探りながら、公と私の併存を模索する。

近年は主に3DCGや3Dプリンター等で制作された立体や映像、仮想空間といったメディアを用いて、場の分節による多層的な空間の展開、鑑賞者との関わり方、素材と構想、といった面から彫刻表現の新たな可能性を提示しようと試みている。

また2018年より「RC HOTEL 京都八坂」ディレクター。2019年よりアートフェア「OBJECT」を共同運営。

2020年にはショップ/クリエイティブチーム「ニハ(NIHA)」結成。

### [主な個展]

2022年

「BANK ART UNDER 35 2022」BANK ART KAIKO 神奈川

2021年

「Sea Change」武蔵野美術大学 gFAL 東京

### [主なグループ展]

2024年

「YOU LEFT ME BREATHING」POOL SIDE GALLERY 石川

「おまえのための///」堀川新文化ビルヂング NEUTRAL 京都

2023年

「Slow Culture #kogeji」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 京都

2022年

「問題のシンボライズー彫刻・身体・男性性ー」HOTEL ANTEROOM GALLERY 9.5 京都

2020年

「Rollin' Rollin'」Finch Arts 京都

「SUBJECT」HOTEL ANTEROOM GALLERY 9.5 京都

2019年

「DOOKS Book Exhibition Vol.6」nidi gallery 東京

「PRIMARY1」ギャラリー5610 東京

2018年

「パープルタウンでパープリズム」パーブルーム 神奈川

「チョウコク-論」Finch Arts 京都

「Tips」京都芸術センター 京都

### [アートフェア]

2025年

「ARTIST'S FAIR KYOTO2025」京都

### [主な企画]

2022年

「問題のシンボライズー彫刻・身体・男性性ー」HOTEL ANTEROOM GALLERY 9.5 京都

「新工芸展」新工芸舎展覧会 RC HOTEL 京都八坂 京都

2020年

「2040年11月10日は土曜日である」qp展 RC HOTEL 京都八坂 京都

「MICROCOSM」今井麗展 RC HOTEL 京都八坂 京都

「OBJECT at VOU」VOU/棒ギャラリー 京都

2019年

「OBJECT」ロームシアター 京都

「泊まる彫刻」富井大裕展 RC HOTEL 京都八坂 京都

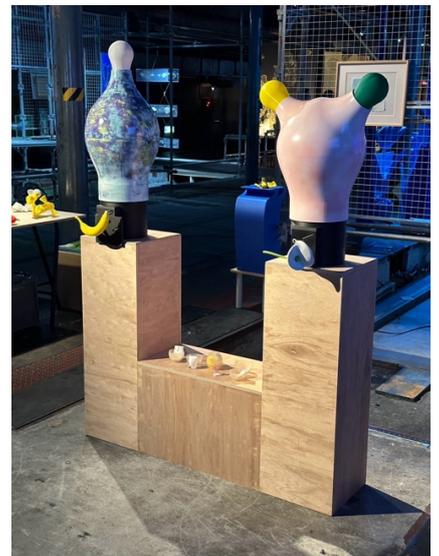
2018年

「裏切られたシーン」谷本真理展 clinic 東京

2017年

「あらたな価値を与える行為展」clinic 東京

「scene UKH ver.2」吉田桃子展 波さがしてっから 京都



# Marco Gallery

【共催企業様/co-host】

UAG F.B / @uag\_f.b

## 【ブランド紹介】

指スケ「Finger Skateboard」とはアメリカで誕生した、全長約 10cm のミニチュアサイズのスケートボードに、両足に見立てた 2 本の指を使ってトリックを繰り出す、全く新しいエクストリームスポーツです。

SINCE 2019

UAG F.B は日本で初めて、デッキやトラック、ウィール全てをオリジナルで開発。

よりリアルを追求した素材、構造で作り上げるこだわりには、

納得がいくまで追求し続ける職人たちの熱い想いがこめられています。

いつか「世界一小さなスポーツ」として誰もが楽しめるカルチャーを目指して。

## 【ブランドステートメント】

ENJOY LIFE WITH FINGERS -人生を楽しむ指へ-

何かひとつ楽しめるものがあれば、人生は変わる。

キミのそのひとつが、指スケなら最高。

スケボーと変わらないトリックを、とことん極める。

当時は懐かしみながら、気軽にトライする。

お気に入りのデザインを、インテリアにする。

子どもといっしょに、走らせて遊ぶ。

指スケの楽しみ方は、キミ次第。つまり、無限大。

「世界中の、すべての指を楽しませたい」

UAG F.B は、そんな願いを叶えるために、

高品質な素材にこだわる。

高精度な製法にこだわる。

そして、誰もが手にしやすい価格にこだわる。

ひとつひとつの“指仕事”に情熱を注ぎながら、

自分たちの指も、楽しみながらつくっています。

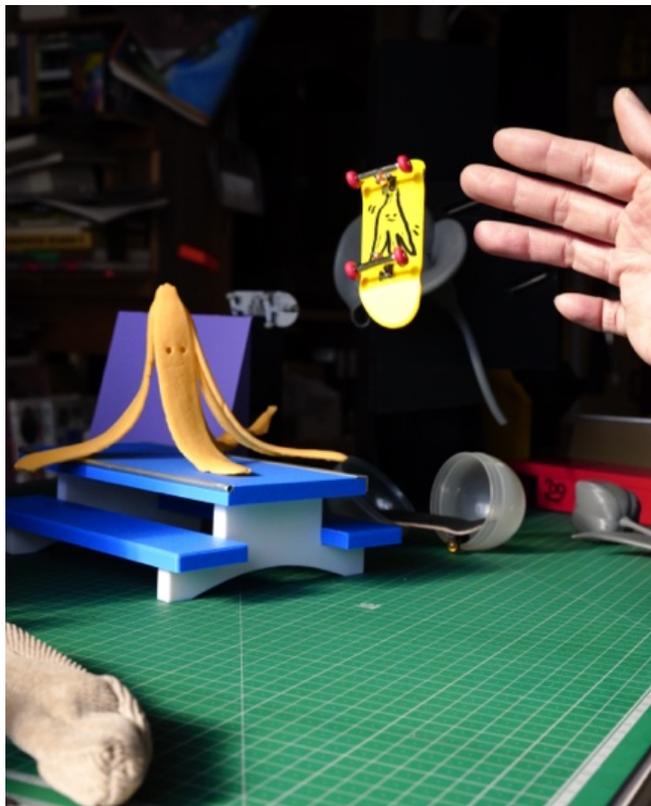
さあ、キミは指スケで、どんなふう楽しむ？



# Marco Gallery

---

Solo Exhibition “Play Sculpture”



出展作家：熊谷 卓哉

開催日程：2025年3月21日（金）～4月20日（日）

営業時間：13:00-18:00

定休日：月、火、祝日 \*水曜はアポイント制

会場：Marco Gallery 1・3・4F

共催企業様：UAG F.B

---

お問い合わせ：[info@marcoart.gallery](mailto:info@marcoart.gallery)

大阪府大阪市中央区南船場 4-12-25 竹本ビル 1F,3F,4F

Takemoto BIDG 1F,3F,4F 4-12-25 Minamisenba Chuo-ku, Osaka City, Osaka, Japan

Tel: +81 06-4708-7915 E-mail: [info@marcoart.gallery](mailto:info@marcoart.gallery)

